専門教育科目　講義科目

科目名：	考える力をつける	科目コード	HH20
科目主査：	堀内 勝夫　　担当講師：池内 健治、岩本 健一、遠藤 優子、北山 勝英、小林 久司、柴田 裕介、竹元 雅彦、田口 尚史、堀内 勝夫、増野 洋子、溝井 伸彰、宮本 博文	単位	2
		配当年次	1

授業の目的と概要	グループワーク： ☑ あり ☐ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

本科目は論理的思考（ロジカルシンキング）を学修します。現代社会を生きる私たちは、労働・仕事のみならず親密な人間関係などあらゆる活動において論理的な思考が求められます。もともと論理学は、他者を理解し、思考や感情を共有するために生まれたものです。論理的思考を身につけることで、日常生活での悩み、または複雑化した社会問題の解決につながることもあるでしょう。論理学の初歩を学びながら、「考えることを考える」ことは、日常生活における思考を自省的に見直す学修となるでしょう。

履修の前提となる科目	☐ あり　☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、理解が困難・不十分な点がありましたら、スクーリング時に質問できるように整理しておきましょう。	
テキスト	『ロジカル思考を身につける』,産業能率大学総合研究所,最新版	

この科目の 到達目標	①論理的思考の概略について学修することで、その内容を説明することができる。 ②演繹法、帰納法、因果関係といった論理思考の中核の思考法を活用することができる。 ③MECE、ロジックツリーといった思考技術を修得し活用することができる。
成績評価 の 方 法	出席状況はログ確認を行います。また第一日に課す課題に対して評価します。 最終テストにおいては、学修した内容の理解度を、キーワードの記述といった客観問題と、キーワードをベースとした重要なポイントについて論述問題を解いてもらいます。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	スクーリングで学んだ論理思考の思考法を生活や仕事の場面で活用してみましょう。例えば、企画の立案や会議での話し合いなど活用範囲は広いです。結果としてこれまでのやり方が改善され、効率的・効果的に進められるように工夫しましょう。
事後学習の 参考文献	『FACTFULNESS』ハンス・ロスリング他、上杉周作・関美和訳、日経BP社、2019年 『思考力改善ドリル　−批判的思考から科学的思考へ』植原亮,勁草書房,2020年 『Think critically クリティカル・シンキングで真実を見極める』ジョエル・ベスト（飯嶋貴子訳),慶應義塾大学出版会,2021年

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑カメラ・マイクは必須となります。